



2024

# 学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第25号  
令和6年9月13日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

漢字の練習はここまで徹底してやると、必ず力がつきます。さすが6年生。丁寧な練習が大事なのです。



6年生の教室を参観した時に、国語で漢字の練習をやっていました。大変高学年らしい学習でしたのでご紹介します。漢字の練習といえば、学校でのお勉強の代名詞みたいな感じがあるのではないかと思います。ここでおたずねです。漢字の練習楽しかった！という方、どのくらいおられますかね(笑)?漢字の練習が大好きだった!!って方は少ないのではないかと思います。私自身もそうでしたし…。それぐらい、漢字の練習って印象がよくないのではないかと思います。「宿題で漢字練習帳(200字)に1ページ」とか「漢字100問テストで90点以上が合格点」というマイナス要素たっぷりの印象が強いのではないかと思います。しかし、実は漢字練習はそんなに悲壮感漂うものではないと考えています。漢字は3回練習すれば習得できるという考え方もあります。部首やつくりなどをきちんと理解し、その成り立ち等を学ぶことで習得が早まるという意見もあります。空中に手で「空書き」をすると簡単に習得できるという練習方法もあります。つまり、同じ文字をひたすら何回も罰のように練習するイメージというのは、昔の話なのかもしれません。

6年生の教室に入って、感心したのは、写真の通り練習をしている時の静けさです。(裏面へ)

そこには、反復練習のように字を書かされている姿ではなく、自ら考え、いかにして目の前の漢字を習得すればよいのかを考えているこどもたちがありました。また、雑に練習をするのではなく、写真のようにきちんとそろり書きを丁寧にしている姿も光りました。何事も大事なのは「丁寧にする」ということなのです。これは漢字の練習だけに限ったことではありません。丁寧に練習することで力がつくのはスポーツの世界でも同じなのだそうです。「凡事徹底」という言葉も同じです。「丁寧に」「徹底」して積み重ねることが上達の早道なのだと思います。お友達関係にも同じことがいえると思いますよ。こどもたちにもしっかり考えてほしいと思います。(校長)

## おまけ 校長先生が担任時代の漢字練習の様子です



一生懸命に「空書き」をしている様子



意欲的に発表することもたちだったのです(笑)

## 校長先生の虫眼鏡 「すこやか読書タイム」



先週金曜日の「すこやか読書」の1コマ 担任の先生も含めて完璧なスタイルです。